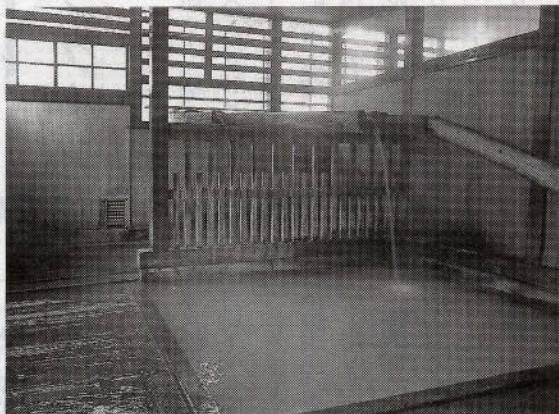




# 仙台・宮城【伊達な旅】

奥羽山脈の懐に抱かれた仙台・宮城には、効能や湯の色、匂いも多彩な温泉があちこちに湧いている。鮮やかな緑がまぶしい季節、アクティブに過ごした一日の締めくくりは、歴史ある温泉に身をゆだねるのもおすすめです。おもな温泉を紹介する。



滝の湯（鳴子温泉郷）

## 蔵王の星空を鑑賞



蔵王、秋田、岩手の3県にまたがる標高1626級の栗駒山はトレッキングに最適だ。初心者や家族で登るなら、いわかがみ平を起点に約3時間で山頂を往復できる「中央コース」がおすすめ。晴れた日には山頂から月山や鳥海山、蔵王連峰、さらには太平洋まで一望で

宮城で最も天に近づける場所・蔵王では満天の星空を鑑賞する「空中さんぽde星さんぽ」が、10月12日までの土日、祝日の午後7時から9時までで開かれる。ロープウェイで標高1100級まで約15分の空中散歩を楽しめる。雨時はプラネタリウムを使った星空解説を行う。問い合わせ「みやぎ蔵王えほしり조트」224(34)4001。宮城、秋田、岩手の3県にまたがる標高1626級の栗駒山はトレッキングに最適だ。初心者や家族で登るなら、いわかがみ平を起点に約3時間で山頂を往復できる「中央コース」がおすすめ。晴れた日には山頂から月山や鳥海山、蔵王連峰、さらには太平洋まで一望で

## 伊達美味やキラキラ丼

### 地域色濃いグルメも魅力

自然や文化、生活が色濃く映し出される地域の食。仙台・宮城には定番グルメから、売り出し中の新名物まで多彩にそろっている。



キラキラこに丼（一例）

仙台市では牛たん焼きに代表される仙台グルメを「伊達美味(だてうま)」と名付けPRしている。「笹かまぼこ」や杜の都をイメージした緑色が特徴の「仙台あおは餃子」、新名物・白身魚のツゲが主役の「仙台つけ丼」

焼きたての牛たん、味(だてうま)と名付けPRしている。「笹かまぼこ」や杜の都をイメージした緑色が特徴の「仙台あおは餃子」、新名物・白身魚のツゲが主役の「仙台つけ丼」

など、種類はさまざま。ホームページ(<http://www.dateuma.jp/>)では、飲食店やイベントなども紹介している。

（仙台・石巻）も開業し、津波被害の大きかった東名、野蒜の2駅を内陸の高台に移転。両駅がある陸前大塚・陸前小野間は、震災前より500級ほど内陸側の新しいルートで運転を再開した。

### 世界で最も美しい湾へ

#### 松島四大観

松島湾の「世界で最も美しい湾クラブ」(本部松島湾を望むこと3市3町と宮城県は、美しい湾クラブ)への加盟13年を機に、湾を取り巻く3市3町と宮城県は、「松島湾」ターランド構想」と名付け、同エリアの一体的な魅力発信に力を入れている。日本三景・松島として知名度が抜群の同地で、自然景観や歴史、食などの情報を丁寧に伝え、魅力を「再発見」してもらう取り組み



仙石東北ラインのハイブリッド車両

## 歴史ある名湯へ

### 秋保温泉

#### (仙台市)

秋保温泉は、古くは伊達家の湯殿が置かれた由緒ある温泉だ。仙台市街地から車で30分という好立地にありながら、豊かな自然に囲まれたロケーションが、訪れる人々を和ませている。

湯殿が置かれた由緒ある温泉だ。仙台市街地から車で30分という好立地にありながら、豊かな自然に囲まれたロケーションが、訪れる人々を和ませている。

### くりこま高原温泉郷

#### (栗原市)

栗原市のくりこま高原温泉郷は、手つかずの自然に囲まれた「みやぎの隠し湯」

鳴子温泉郷には400以上の源泉があり、全部で10ある温泉の泉質のうち、8種を網羅するという全国屈指の温泉地だ。「湯めぐりチケット」を手に名湯を満喫したい。

立ち上がる湯けむりと硫黄の香りがほんのり漂う温泉街をそぞろ歩けば、レトロな喫茶店や郷土料理の店、土産物店、こけし工房が迎えてくれる。

名取川に架かる「靄橋」(のぞきばし)から稲々峡(らいらいぎょう)を見下ろすと、自然にできた「ハート型の岩のくぼみ」が見られる。恋人の聖地に

という表現がびっぴりたりの湯だ。登山客だけでなく、マイナスイオンたっぷりの自然を満喫したい人にもおすすめです。

小原・鎌先温泉(白石市)